学校番号	311

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	教養国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	「テスト式　国語常識の総演習　四訂版」(啓隆社)、自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実社会に出た時に必要な国語の知識や論理的な思考力を身につけるための学習をします。
・「読む能力」だけでなく自分の考えを「書く能力」や相手に意見をわかりやすく「話す能力」や相手の主張を「聞く能力」も授業を通して身につけていきます。
・提出物も評価しますので、積極的に取り組んでください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
　社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、これまで培ってきた言語能力や読解力、記述力を定着させ、深めることができるようにする。あわせて、漢字や語句の正しい使い方も理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
　論理的に考える力や共感したり想像したりする力を深めるとともに、他者とのつながりの中で伝え合う力、自分の思いや考えを表現する力を伸ばすことができるようにする。その中で、様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して社会に関わり、他者理解に努め、自己を適切に表現できるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、これまで培ってきた言語能力や読解力、記述力を定着させ、深めることができるようにする。あわせて、漢字や語句の正しい使い方も理解する。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を深めるとともに、他者とのつながりの中で伝え合う力、自分の思いや考えを表現する力を伸ばすことができるようにする。その中で、様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」を身につける。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して社会に関わり、他者理解に努め、自己を適切に表現できるようにする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	第 1 回～4回(A・B) ・重要語の読み・書き取り ・同字異音 ・反対語 ・同音異義語 ・同訓異義語	a:常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 b[話]:自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。 c:積極的に情報の収集や整理を行い、伝わりやすいように内容構成や展開を工夫しようとしている。	提出物 定期考査	提出物 定期考査	提出物 ワークシート
	第 1 回～4 回(C・D) ・語の意味 ・慣用句 ・ことわざ ・近代短歌 ・句読点による意味の違い ・レポート作成	a:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解できている。 b[書]:自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫することができる。 c: 言葉の役割や使い分けを理解したうえで自分の考えを表現しようとしている。	提出物	提出物	提出物 ワークシート
二学期	第 5 回～8 回(A・B) ・重要語の読み・書き ・類字 ・四字熟語 ・文章題	a:文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解できている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 c:読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書こうとしている。	提出物 定期考査	提出物 定期考査	提出物 ワークシート
	第 5 回～8 回 ・動詞の慣用的な使い方 ・比喩・擬態語 ・意見文作成	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使えている。 b[書]:目的や意図に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にできる。 c:読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書こうとしている。	提出物	提出物	提出物 ワークシート
三学期	第 9 回～12 回(A・B) ・難読漢字 ・太陰暦月の異名の読み ・古典語の読み ・誤字訂正 ・対義語 ・意見文作成	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できる。 b[話]:目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討できる。 c:自己の考え方について思考し、話し合おうとしている。	提出物 定期考査	提出物 定期考査	提出物 ワークシート
	第 9 回～12 回(C・D) ・慣用句・慣用表現 ・長文での表現演習 ・敬語 ・手紙の書き方 ・面接での言葉遣い	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]:読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味し、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることできる。 c:読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書こうとしている。	提出物	提出物	提出物 ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　5　）時間

・書くこと　…　（　25　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間